

# Four Library

## 読書ナビ

第26回

### 私たちは、いまだどこにいるのか—宴の果てに 経済学部教授・井上雅雄

#### 『暴走する資本主義』

(ロバート・B・ライシュ著、東洋経済新報社、2008年)

#### 『格差はつくられた』

(ポール・クルーグマン著、早川書房、2008年)

#### 『世界に格差をバラ撒いたグローバリズムを正す』

(ジョセフ・E・スティグリッツ著、徳間書店、2006年)

#### 『捨てられるホワイトカラー』

(バーバラ・エーレンライク著、東洋経済新報社、2007年)

#### 『超・格差社会アメリカの真実』

(小林由美著、日経BP社、2006年)

#### 『ルポ 貧困大国アメリカ』

(堤未果著、岩波新書、2008年)

#### 『反貧困』

(湯浅誠著、岩波新書、2008年)

#### 『労働ダンピング』

(中野麻美著、岩波新書、2006年)

#### 『雇用融解』

(風間直樹著、東洋経済新報社、2007年)

#### 『グローバル恐慌』

(浜矩子著、岩波新書、2009年)

アメリカの金融危機に端を発する世界大での経済的危機が、私たちの日常世界を深く覆っている。社会ダーウィニズムとも言うべきむき出しの市場経済システムが30年余りにわたって猛威を振ったあとで、私たちがいま眼前にしているのは、経済の破綻ばかりではない。経済から知にまで至る格差の大きな拡がりであり、安んじて働ける雇用の溶解であり、おびただしい貧困の顕在化である。この過酷な現実実態は、経済資源の最適な配分と自己調整メカニズムとによって多くの問題を解決できる最良のシステムだと信じられてきた市場経済が、その原理をなす自由な競争の社会的制御なき跋扈を許すならば、取り返しのつかない負の帰結をもたらすことを如実に示している。市場メカニズムが全能の神のごとき強大な力をもって、経済のみならず人びとの生活世界の総体—政治、社会、文化そして道徳までも一元的に支配するこの異様な事態は、何ゆえに、いかに、もたらされたのか。

左に掲げた作品群—市場メカニズムの暴走に警鐘を鳴らしてきたアメリカの代表的な論者の著作と、それがいかなる結果をもたらしたかをアメリカと日本に即して活写した報告書の束から各人がその答えを読み取ってほしいが、むしろここで強調すべきは、この市場の暴走が生み出した、より本質的な問題についてである。市場の暴走があらわにした真の危機は、他者の哀しみを自己の哀しみとし、他者の痛みを自己の痛みとして感応する想像力の摩滅と世界認識を支える理性の衰弱にこそある。公共性の喪失に象徴される民主主義の衰退と、それを支えるべき人びとの精神の内部に広がる広大な荒野は、このことを端的にあらわしている。それは、誤解を恐れずにいえば人間社会を文明からウィルダネス（未開）の世界へと逆戻りさせるほどのものであり、それは言葉の真の意味において「恐慌」と言わなければならない。それゆえに、たとえ将来経済の危機が克服され一定の安定軌道に乗ることができたとしても、それは容易には回復することのできない深刻な問題にほかならない。

私たちは、いま他者の声、他者の魂の叫びに耳を傾け、思考の垂線を深く強く鍛え上げるほかにこの精神の荒野に泉をよみがえらせることはできないのである。

※上記の資料はすべて立教大学図書館で所蔵しています。

## おしえてライブラリー

第5回

授業の勉強に必要な本をOPACで検索しましたが、立教大学では所蔵していないようです。購入してもらえますか？

みなさんの希望図書を購入するための「学生希望図書（リクエスト）制度」があります。立教大学図書館ではこの制度を通して、図書館蔵書に関するみなさんのご意見やご要望を集め、図書収集に有益な情報として活用しています。

図書館に目的の本がない場合、図書館本館もしくは新座図書館の閲覧カウンターで希望図書申込書に書名や希望の理由などをご記入の上、提出してください。図書館で購入の可否を検討して、数日中に図書館本館もしくは新座図書館の掲示板で結果をお知らせします。学習活動を支援するため、入門書、教養書、基本図書、参考図書などを中心に収集しています。

みなさんの積極的なリクエストをお待ちしています。

## INFORMATION

### 授業紹介～全カリB「北欧に学ぶ」～

図書館が提案部局となり、2009年度前期全学共通カリキュラム総合B群にて以下の授業を開講します。

- 科目 「北欧に学ぶ  
～知識社会を豊かに生きる力～」
- 開講キャンパス 池袋キャンパス
- 開講時限 水曜2限
- ウェブページ

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/library/hokuo/>

情報社会・知識社会において、私たちが豊かに生きていくために必要な力とは何でしょうか？ 図書館では、この問いについて『リテラシー』という視点から考えてみたいと思います。リテラシーとは、目的に沿って必要な情報を引き出し、活用する能力のことです。当科目では、国際学力調査で高順位を獲得している「北欧」にスポットをあて、自学自習の姿勢や自立した市民の育成が図られている教育システムを軸に、広く北欧の文化・社会への学びを通して、リテラシー涵養のヒントを探っていきます。

## Your Library 第5号(通号64)

発行日 2009年4月1日 連絡先 TEL 03-3985-2628

編集 井川 充雄(図書館副館長) E-mail [your\\_library@ml.rikkyo.ac.jp](mailto:your_library@ml.rikkyo.ac.jp)

発行人 石川 巧(図書館長)

発行 立教大学図書館

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/library>



メールにて、みなさんのご意見、ご感想をぜひお寄せください。

「LIBRARY WEEK 特別企画」GOALまでたどりつけましたか？ ツアーを通じて、図書館での居場所を見つけられたことを心から願っています。新学期を迎えたこの機会にみなさん自身の図書館の使い方を考えてみてください。図書館ではさまざまな新しい発見が待っているはずです。

## 立教大学図書館を巡ろう

### CONTENTS

②-③

LIBRARY WEEK特別企画  
図書館を巡って、限定エコバッグをもらおう

④

読書ナビ  
おしえてライブラリー  
INFORMATION



# 図書館を巡って、 限定エコバッグをもらおう

立教大学図書館では、4月6日(月)～24日(金)の期間にLIBRARY WEEKを開催します(土日を除く)。本号で紹介する図書館内の各コーナーを巡りながら、クイズに答えてみましょう。GOALまでたどり着いた方には図書館オリジナルの限定エコバッグを差し上げます。新入生の方は、ぜひ積極的にご参加ください。図書館の使い方は人それぞれです。自分なりの図書館の使い方を発見してください。



## 図書館本館 or 新座図書館へ行こう

### 1 START!

「図書館利用案内2009」と学生証の準備は出来ましたか? 図書館の入館ゲートを通るには学生証が必要です。図書館に入ったら、まず、「図書館本館利用案内」または「新座図書館利用案内」を1部手に取りましょう。利用案内に載っているマップを頼りに、これから紹介する各コーナーを巡ってみましょう。

### 2 閲覧カウンター

資料の館外貸出・返却手続き、書庫資料の出納、貸出期間の延長、資料の予約手続き、他キャンパス資料の取り寄せ手続き、OPAC端末案内などをを行います。



新座図書館

Q 図書館で借りることのできる資料に○をつけましょう。

- 一般図書
- 参考図書
- 雑誌
- 新聞
- メディア資料 (CD/ビデオ/DVD)

ヒント: 「図書館利用案内2009」P.5 参照

### 3 OPAC

OPACは図書館の資料を検索することができるオンライン蔵書目録です。検索結果の情報は請求メモとして印刷することができます。



図書館本館

Q 図書館内のOPACで検索をして、請求メモを印刷してみよう。印刷した請求メモはGOALまで持ってきてください。

### 4 授業用テキストコーナー

シラバス(履修要項・講義内容)に掲載されているテキスト(教科書)が配架されています。

Q 授業用テキストコーナーの位置を確認したら、チェック欄に✓を入れよう。

### 6 新聞コーナー

朝日・読売・毎日・日経の四大紙をはじめとする国内の新聞と、海外の新聞が閲覧できます。

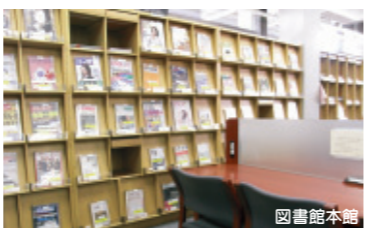


新座図書館

Q 自分の生まれた日の新聞記事を探す方法を図書館スタッフに聞いてみよう。2つ方法があるので、それぞれ下の欄に記入してください。

- 1
- 2

### 5 雑誌コーナー



図書館本館

Q 雑誌コーナーにある雑誌のうち、興味のある雑誌または自分の学部・学科に関連する雑誌を2つあげてください。

- 1
- 2

### 7 メディア資料

7号館2階メディアライブラリー(池袋キャンパス)と新座図書館には、映画のビデオ・DVDなどの視聴覚資料があります。メディア資料は、AVコーナーで視聴することも借りることもできます。



メディアライブラリー

Q 立教大学図書館に、コレクションしてほしい映画などのビデオ・DVDのタイトルを下の欄に記入してください。

- 1
- 2

### 8 レファレンスカウンター



図書館本館

Q レファレンスカウンターで受けられるサービス4つは何でしょう? 下の欄に記入してください。

- 1
- 2
- 3
- 4

ヒント: 「図書館利用案内2009」P.7 参照

### 10 GOAL! 答え合わせをしよう

GOALでの答え合わせまでたどり着いた方には、図書館オリジナルの限定エコバッグを差し上げます!



図書館本館

池袋キャンパスの方

⇒図書館本館旧館  
グループ閲覧室2の  
ラーニングアドバイザー

新座キャンパスの方

⇒新座図書館閲覧カウンターの  
スタッフ

### 9 グループ閲覧室

複数の人数で図書館の資料を使いながら学習することができるスペースです。



新座図書館

Q グループ閲覧室に行ったら、チェック欄に✓を入れよう。

## 学系図書館へ行こう

総合学習図書館としての役割を担う図書館本館のほか、池袋キャンパスには3つの学系図書館があります。池袋キャンパスに設置された学部および研究科に関連した図書・雑誌など、研究用資料が置かれています。もちろん、学部学生の利用も歓迎です。

### 人文科学系図書館

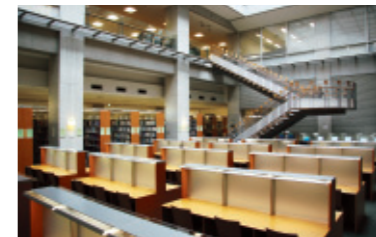
★6号館(1階・5階)・16号館



文学部および文学研究科、キリスト教学研究科に関連した図書・雑誌などの研究用資料が置かれています。

### 社会科学系図書館

★12号館(1階)



経済学部、社会学部、法学部、経営学部、異文化コミュニケーション学部および各研究科、独立研究科、法務研究科に関連した図書・雑誌などの研究用資料が置かれています。

### 自然科学系図書館

★4号館(2階)



理学部および理学研究科に関連した図書・雑誌などの研究用資料が置かれています。

※新座キャンパスに設置された学部および研究科に関連した図書・雑誌などの研究用資料は、新座図書館に置かれています。